

参加者の皆様へ①

- ✓ 記録や取材のため、会議の様子を撮影、録音します。
- ✓ 動画の一部は、後日、日野市公式YouTubeで配信します。
- ✓ 写真の一部は広報に使用する可能性があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。

参加者の皆様へ②

- ✓ 参加者が写真を撮影される場合は、他の参加者の個人を特定できない写真となるようにご配慮をお願いします。
- ✓ 十分ご配慮いただければ、その写真をSNSへ投稿していただいても構いません。
- ✓ 参加者による動画の撮影、録音はご遠慮ください。

傍聴者の皆様へ①

- ✓ 開会前、会議中、閉会後に関わらず、予め定められたエリアでの傍聴をお願いします。
- ✓ 会議中は、発言、私語、拍手等の意思表示を伴う行為は行わないようにお願いします。

傍聴者の皆様へ②

- ✓ 記録や取材のための撮影に、傍聴者も写り込んでしまう場合があります。
- ✓ 写りたくない方は、お近くの事務局までお声掛けください。
- ✓ 傍聴者による撮影や録音は、報道・記録など主催者の許可がある場合以外にご遠慮ください。

会場の皆様全員へ

- ✓ お手洗いは、廊下に出て右手側に進み、エレベーターの手前にあります。込み合っている場合は下の階のお手洗いをご利用ください。
- ✓ 地震、火事等の災害時には、日野市職員の指示に従い、落ち着いて行動してください。

日野市気候市民会議（第2回）



令和5年9月3日

開 会

日野市気候市民会議の概要

【目的】

市民が複数の専門家から気候変動による影響や対策を学びながら、全5回の会議で熟議を重ね、政策提言をとりまとめます。

【参加者】

住民基本台帳をもとに無作為抽出した市民から応募者を募り、世代構成や男女比が日野市の縮図となるように、40名の参加者を選定しました。

日野市気候市民会議

参加者

40人

アドバイザー

- 江守正多氏
東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
国立環境研究所 上級主席研究員
- 三上直之氏
北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 准教授

主催

- 日野市 環境共生部 環境保全課

事務局

- アオイ環境株式会社

全5回と本日の流れ

全5回の流れ

	説明	講義・情報提供	グループワーク
第1回 (8月6日)	ガイダンス、 気候市民会議の狙い	講義①気候市民会議の意義 講義②気候変動の現状とこれからの社会	感想と疑問点の共有
第2回 (9月3日)	前回の確認、 本日の進め方	モノに関わる脱炭素 情報提供 (講師1名・事業者2組)	モノに関わる 脱炭素の取り組み
第3回 (10月1日)	前回の確認、 本日の進め方	モビリティに関わる脱炭素 情報提供 (講師1名・事業者2組)	モビリティに関わる 脱炭素の取り組み
第4回 (11月5日)	前回の確認、 本日の進め方	エネルギーに関わる脱炭素 情報提供 (講師1名・事業者2組)	エネルギーに関わる 脱炭素の取り組み
投票	取り組みの優先順位等を聞く投票		
第5回 (12月10日)	投票結果、 提言書の作成方法	—	市民、事業者、行政の役割、 取り組みの留意点、提言内容

取り組み内容の検討
テーマ別の

本日の流れ

時刻	時間	プログラム
13:15～	25分	開会、第1回の振り返り等（質疑応答含む）
13:40～	35分	テーマ（モノ）に関する情報提供（講師）（質疑応答含む）
14:15～	5分	（休憩）
14:20～	40分	テーマ（モノ）に関する情報提供（事業者）
15:00～	10分	（休憩）
15:10～	10分	テーマ（モノ）に関する情報提供のまとめ（質疑応答含む）
15:20～	5分	グループワークの進め方
15:25～	80分	グループワーク テーマ（モノ）に関する議論
16:45～	20分	グループワークの結果の発表
17:05～	5分	まとめと講評
17:10～ 17:15	5分	閉会、事務連絡

クラウドサービスの利用について

- ✓ ペーパーレスで資料を確認
- ✓ グループワークの結果を共有
- ✓ 気候市民会議以外の時間に思いついたアイデアを反映

The image shows a sequence of three screenshots from a mobile cloud service interface. The first screenshot shows a folder list with a callout bubble pointing to the '01_各回資料' folder, labeled 'クリック (タップ)'. The second screenshot shows the contents of the '02_第2回資料' folder, also with a callout bubble labeled 'クリック (タップ)'. The third screenshot shows a list of PDF documents, with a callout bubble at the top right labeled '本日の資料をご覧ください'.

名前 ↑

- 00_気候市民会議
- 01_各回資料
- 02_グループ別フォルダ

名前 ↑

- 01_第1回資料
- 02_第2回資料

名前 ↑

- PDF 1_第2回_進行スライド.pdf
- PDF 2_モノ～生産・消費・廃棄と...
- PDF 3_情報提供_セブン-イレブン...
- PDF 4_情報提供_資源リサイクル...

本日の資料をご覧ください

第1回グループワークで挙げた意見

第1回グループワークで挙げた意見

危機感

- 大変な時代に生きていることを実感し、危機感を感じた。
- 今すぐにやらなくてはいけないと感じた。
- 未来の世代のために取り組むべきだと感じた。

意識変革

- 取り組まなければいけないことが確定しているのに、なぜできない、なぜやらないのかという疑問がある。 できない理由を突き詰めて、そこをできるようにしていくことが一つの回答になると思う。
- 気候変動対策に我慢のイメージがあるなど、日本人は欧米と比べて後ろ向きであり、意識が低い。 その理由がわかれば、次の時代に進むための方法が見えてくると思う。

教育や情報共有等

- 講義のなかで知った事実がたくさんある。 そのような事実を知らなかったこと、知る方法がなかったことが問題である。
- 教育や政治においてもっと取り上げる必要がある。

第1回グループワークで挙げた意見

社会変革

- 人類は「化石燃料文明」を卒業しようとしている。石器時代が終わったのは、石がなくなったからではない。という言葉が心にささった。
- 途上国では産業や経済との関係から十分な気候変動対策を行うことができないなど、単純に解決できない問題もあることから、社会全体が変わっていく必要がある。

経済成長との関係性

- 日本では少子化の問題があり、経済成長のためにこの対策が優先されていると感じている。人口が増えればCO₂排出量も増えるが、CO₂排出量を減らすことも同じように重要な問題である。両方の問題の大きさを同等に扱って解決策を検討していく必要があるのではないか。
- 一方で、経済成長に伴ってCO₂排出量を減らすための技術のレベルも上がるため、このことを踏まえながら、取り組みを進めていく必要があるのではないか。

第1回グループワークで挙げた意見

各主体の役割

- 個人レベルだけで取り組む問題ではないため、日野市、東京都、国、世界のそれぞれのレベルで考え、すべての人が同じ方向を向いていけるようにしていく必要がある。
- また、市民、事業者、行政が一体となって取り組む必要がある。

取り組みの意義

- 気候変動対策には、現時点でも取り組めることがたくさんあること、取り組むことで良い影響もたくさんあることを理解できた。

アドバイザー等への質問と回答

アドバイザー等への質問と回答

質問	回答	回答者
<p>日本では、環境対策は我慢するものという考え方があったり、今の生活を変えることへの抵抗があったりすると言っていたが、<u>海外ではなぜ日本のようなマイナスイメージがないのか</u>。文化的なものなのか、政策や教育によってイメージの転換が進められたのか。</p>	<p>ヨーロッパの国々では、<u>学校での教育以外に大人が参加して議論できる機会がいろいろある</u>。もちろん子供が参加して議論できる機会もある。それらの一つの形態が気候市民会議である。そのなかで<u>多くの人が支持できる取り組み、納得できる取り組み</u>というのはどういうものなのかという議論が行われており、<u>社会全体の意識の向上につながっている</u>。（第1回に口頭で回答）</p>	三上先生
<p>脱炭素化への敗者を生まないように進めるとあったが、<u>この問題が急を要する問題なのであればある程度の犠牲は仕方が無いのではないか</u>。レジ袋有料化のように無理矢理気候変動対策を進めることはできないのか。</p>	<p>敗者を生まないようにというのは、<u>対策によって極端に理不尽な不利益を被る人がいないようにする</u>という意味で、たとえば対策に必要な投資コストのしわ寄せが低所得者に行かないなど。個人的意見としては、<u>レジ袋有料化のようなレベルの規制はたいした不利益を生じさせないので、どんどんやった方がよい</u>と思う。<u>新築住宅の高断熱の義務化や太陽光パネル設置の義務化（日当たりの悪い場合など除き）も同様</u>。おっしゃるとおり、急を要するので。</p>	江守先生

アドバイザー等への質問と回答

質問	回答	回答者
<p><u>地球環境が悪化していき、急を要する事態になっているなかで、世界中で同じ危機感を持って同じ方向を向くために何ができるのか。</u></p>	<p><u>世界規模では、国連の条約交渉やさまざまな国際フォーラム（たとえばダボス会議）などの場で、危機感の共有や真剣な議論が行われているだろう。日本では政治家や行政やメディアがそのような状況を国民に伝えることがあまりできていない（他国もある程度同様かもしれないが）。国民に関心がないので伝わってこないという面もあるので、関心を持つ人が増えることは重要。</u></p>	江守先生
<p><u>提言書の内容をどのように政策に反映し、事業につなげていくか。</u></p>	<p><u>提言書の内容を精査し、必要な取り組みについては順次施策へ反映していく。また、実行しない取り組みについては、その理由を明らかにして公表する。</u></p>	日野市

第1回アンケートの結果

第1回アンケートの結果（会議に対する感想）

会議全体やグループワークに対する感想

- 分からないことがたくさんあることが知れて良かったと思います。
- 日本人の意識改革が必要であることや、なぜやるべきことは見えているのにできないのか等共通の疑問も沢山ありました。
- 疑問点は共通なものだけでなく、世代によって違うものもあり、経験によって生み出される意見もあるのだと感じ、これが日野市の縮図だからこそであり、グループワークだからこそ感じられるものだと思いました。

第1回アンケートの結果（会議に対する意見）

会議の時間

- 考えたり書いたりする時間が少ない。全体の流れの中で仕方ないのかもしれませんが、これから話し合いが始まればもっと時間が必要になると思います。

⇒（対応）第1回は、全5回の流れなど説明しなくてはいけない内容が多かったため、グループワークの時間を短めに設定していましたが、第2回以降は取り組みを考えることが中心となりますので、グループワークの時間を長めに設定します。

- 全体の時間はもう少し短くするか、休憩の回数を増やした方が良いと思いました。

⇒（対応）第2回以降は、休憩の回数を少し多めに設定するように心がけます。

第1回アンケートの結果（会議に対する意見）

会議全体やグループワークの進め方

- 短時間（慣れてないので）での回答がなかなか難しい。今後の回は、ある程度事前に質問の内容が分かっていると、考えを整理しやすく、会議に望みやすいと思いました。

⇒（対応）第1回は、クラウドサービスの準備が間に合わなかったため、事前に資料を配付することができませんでしたが、第2回以降は、できるだけ事前に当日説明する資料を共有するとともに、わかりやすい情報提供になるように心がけます。

- この問題は、対象範囲が広く、ある程度範囲を絞っての議題としないと、抽象的な意見の交換に終始してしまう印象です。

⇒（対応）第2回以降で取り組みを考える際には、あらかじめ模造紙に取り組みの分野を記載しておくことで、具体的な意見交換をしていただけるように工夫します。

第1回アンケートの結果（会議に対する質問）

オンライン

- 基本は最終まで、直接会議場所に出向く予定ですが、体調不良の出していないコロナ陽性や万一の都合などのいざと言う際に、参加者募集の案内に書かれていたオンライン参加の併用開催というのを見たのですが、詳しく知りたいです。

⇒（回答）感染症対策としてやむを得ない場合など、どうしても会場で参加できない回に限ってはオンラインでご参加いただくこともできます。

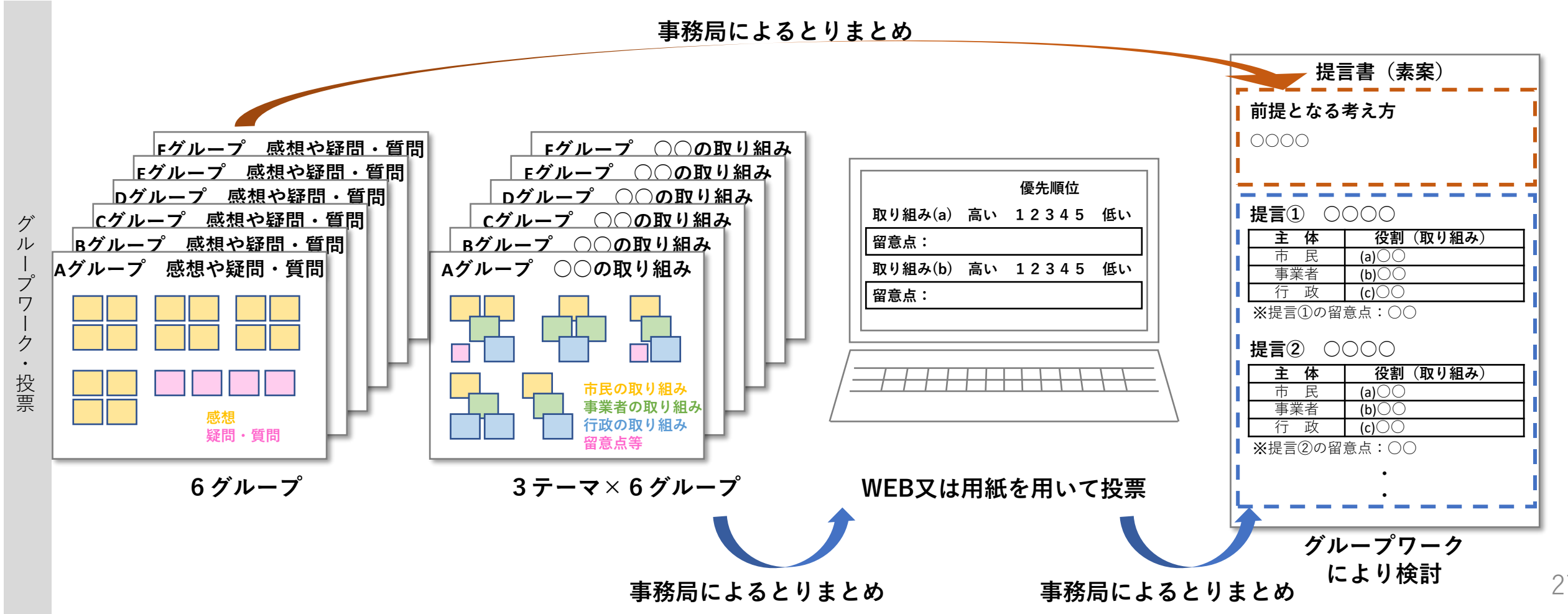
その場合は、ご自宅のPCやタブレットなどを使用してZoomで会場と接続していただきます。

ただし、講義の際のスライドが見えにくい、音声聞き取りづらい、グループワークで他の参加者とコミュニケーションをとりづらいというデメリットは避けられませんので、感染症対策としてやむを得ない場合以外は、できる限り会場でご参加いただけるよう予定の確保をお願いいたします。

提言書作成までの流れ

提言書作成までの流れ（イメージ）

	第1回	第2～4回	第4・5回の間	第5回
テーマ	参加者交流 目線合わせ	テーマ別の取り組み 内容の検討	取り組みの優先順位や 実施に当たっての 留意点を聞く投票	提言内容の検討



3つのテーマの関係性

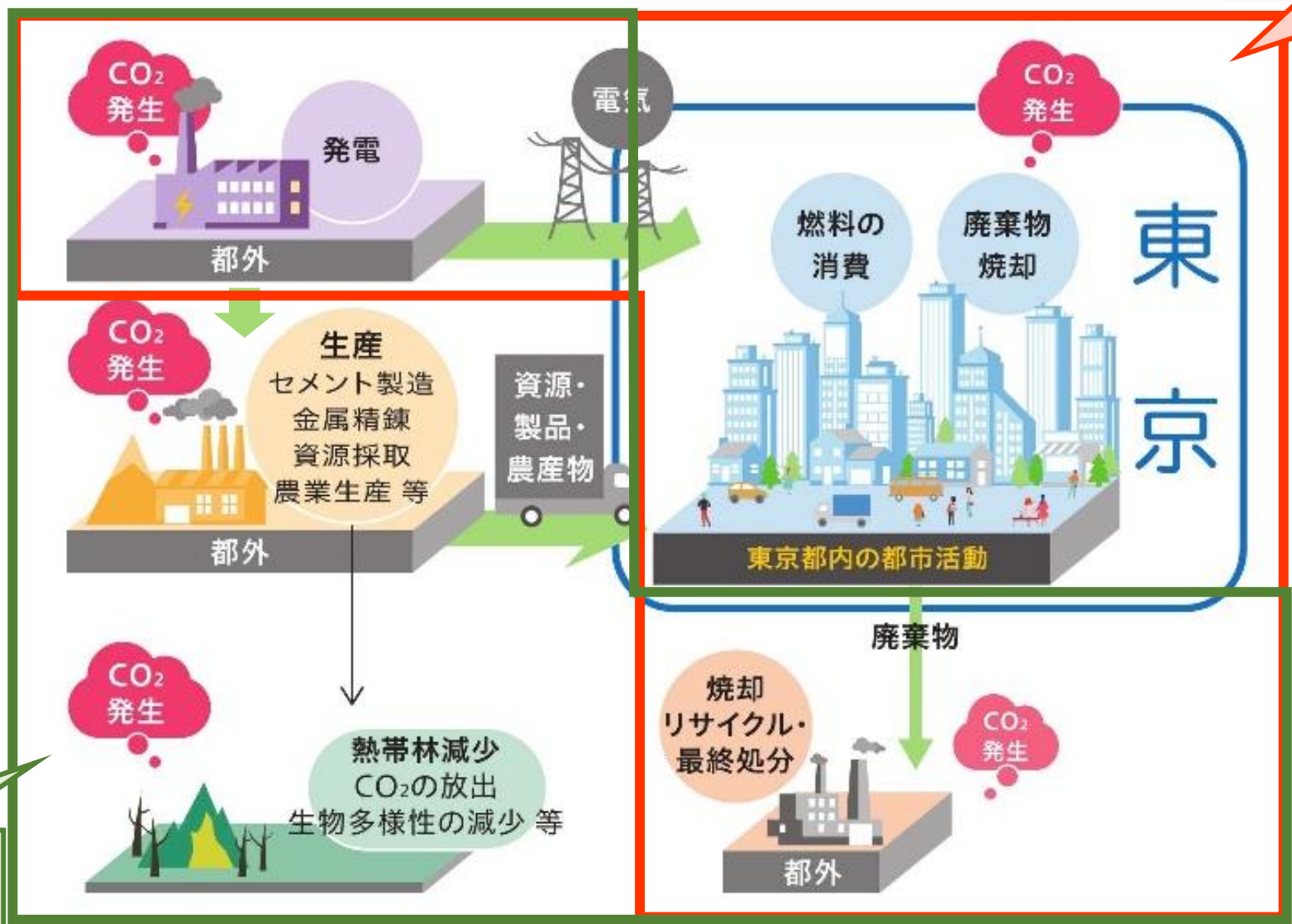
3つのテーマの関係性

[我々の生活と環境負荷のイメージ]

地域内の排出量として
カウントされる範囲



日野市の内訳は
次のページ

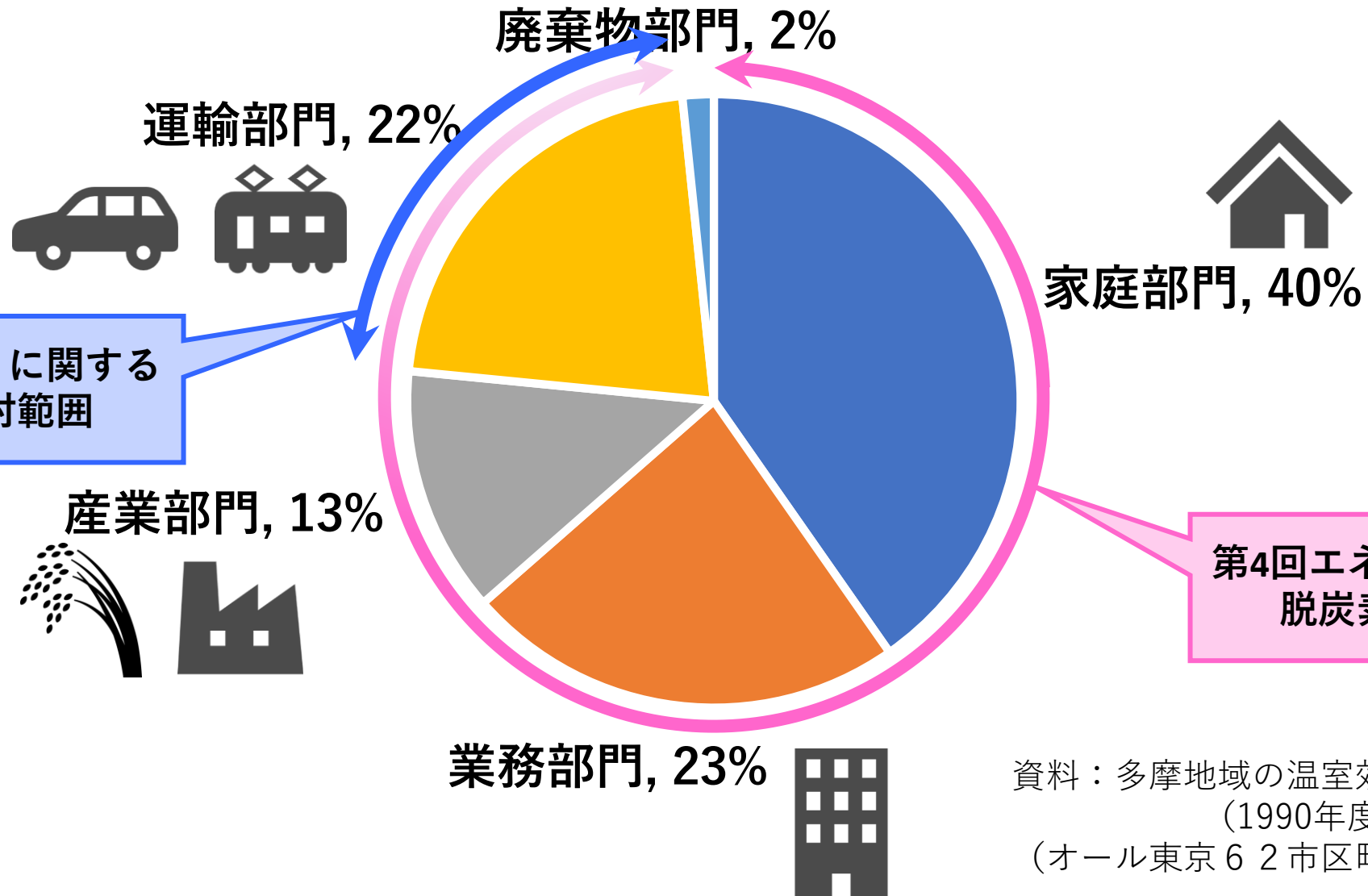


第2回モノに関する
脱炭素の検討範囲

資料：東京都環境基本計画（2022年9月 東京都）に加筆

3つのテーマの関係性

[日野市のCO₂排出量の内訳（2020年度）]



資料：多摩地域の温室効果ガス排出量
(1990年度～2020年度)
(オール東京62市区町村共同事業)
をもとに作成

質疑応答（5分間）

テーマ（モノ）に関する情報提供



プロフィール

(一社) 日本サステナブル・ラベル協会 代表理事

専門は、持続可能な責任ある調達、国際認証、生物多様性、CSR、SDGs、エシカル消費等。
サステナビリティに関するコンサルティング・アドバイザーや、教育研修・ライフスタイルの提案等を手掛ける。

スライド切り替え

質疑応答（5分間）

休憩（14:20まで）

※お菓子と飲み物をお配りします。
ご自由に召し上がりながらご歓談ください。

事業者① (株) セブン-イレブン・ジャパン

情報提供者プロフィール

(株) セブン-イレブン・ジャパン

総合渉外部 西東京ゾーン行政推進担当

星野 浩伸 氏

スライド切り替え

事業者② 日野市資源リサイクル事業協同組合

情報提供者プロフィール

日野市資源リサイクル事業協同組合
副理事長 駒沢 伸豪 氏

スライド切り替え

休憩（15:10まで）

※ご歓談ください。

疲れた方は合間にストレッチなどをしてみましょう！

テーマ（モノ）に関する 情報提供のまとめ

質疑応答（5分間）

グループワーク テーマ（モノ）に関する議論

グループワークの成果のイメージ

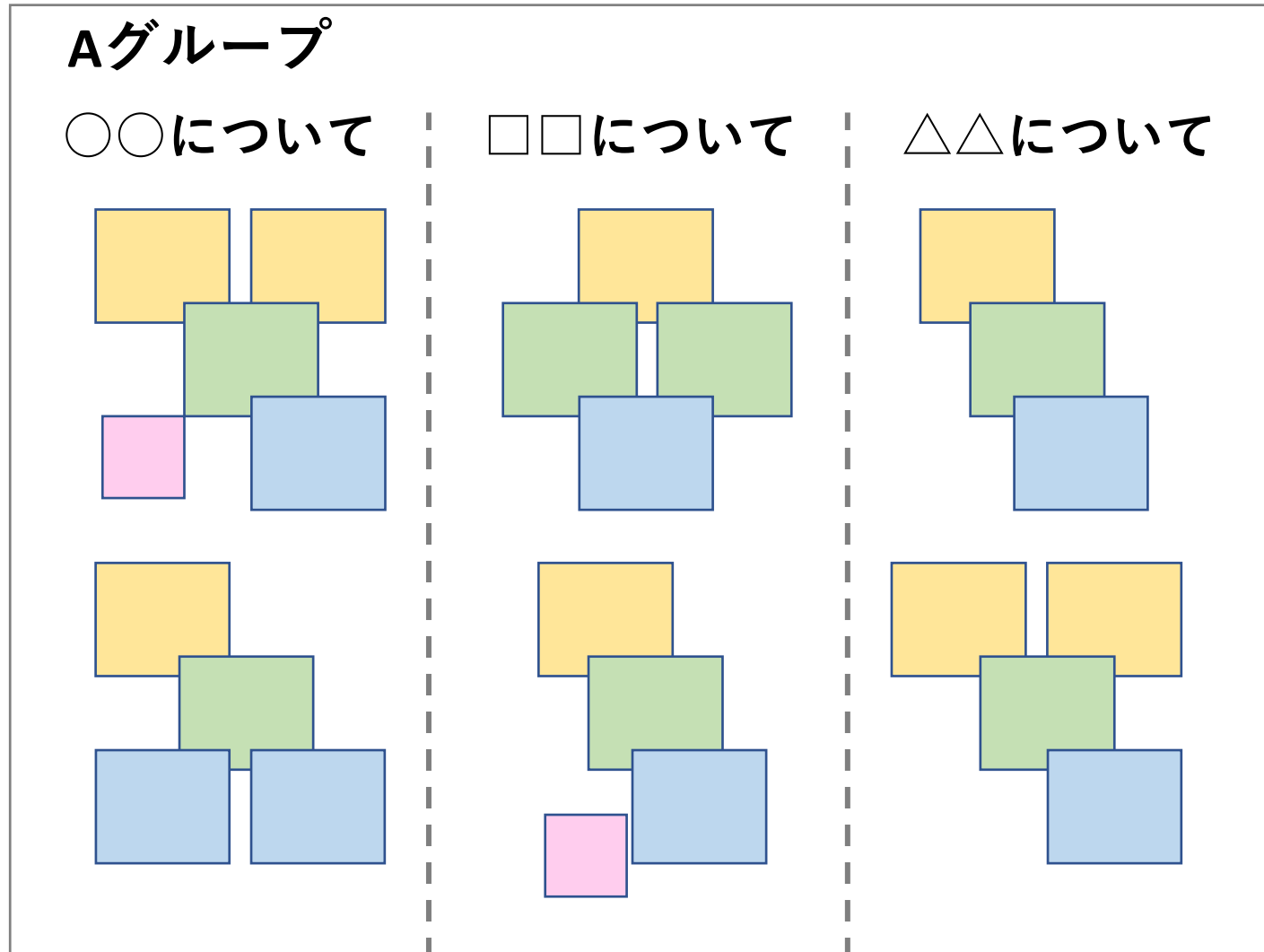
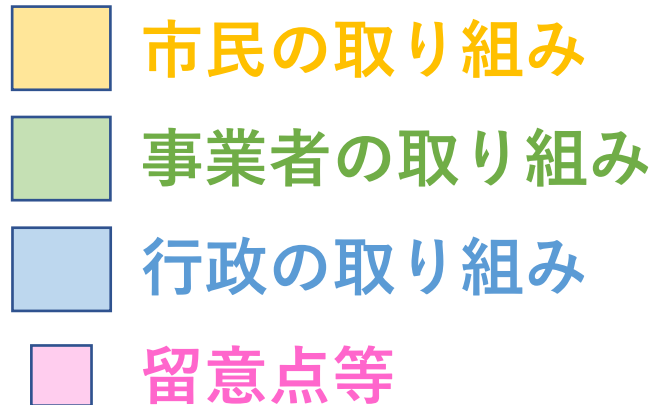
時間：80分

成果のイメージ

- ・市民の取り組み
- ・事業者の取り組み
- ・行政の取り組み

各25分程度

※途中5分休憩



グループワークのルール

- ① 対話はキャッチボール。
短く話そう、よく聴こう！
- ② 途中で遮らない。最後まで聴こう！
- ③ 違って当然。違いこそ可能性！
- ④ 寄り道もOK！
でも、何の話し合いか忘れずに。



グループワークの進め方

1. 発表者を決めましょう【2分】

2. モノに関する取り組みを付箋に書きましょう【5分】

※ 1枚の付箋につき1つの取り組み

3. 付箋を貼りながらグループ内で共有し、意見交換しましょう【23分】

※ 同じ取り組みが出てきたら重ねて貼る

※ 似たような取り組みが出てきたら近くに貼る

3回繰り返す



①市民の取り組み



②事業者の取り組み



③行政の取り組み

終了時刻

16:45

グループワークの結果の発表 (1グループ3分以内ずつ)

まとめと講評

閉会、事務連絡

クラウドサービスの利用について

- ✓ ペーパーレスで資料を確認
- ✓ グループワークの結果を共有
- ✓ 気候市民会議以外の時間に思いついたアイデアを反映

名前 ↑



01_各資料



02_グループ別フ

クリック
(タップ)

名前 ↑



01_Aグループ



02_Bグループ

クリック
(タップ)

名前 ↑



コミュニケーション用ファイ...

1



第1回GW結果_Aグ...

V2

1



グループ別の成果を
ご覧いただけます

クラウドサービスの利用について

グループ内のメンバーとコミュニケーション

The image shows a two-step process for accessing a chat interface. On the left, a file list is shown with a callout bubble pointing to the '共有' (Share) button. An arrow points from this button to the right, where a chat activity feed is displayed. A second callout bubble points to the bottom-left corner of the interface, indicating where to click when the sidebar is hidden.

クリック (タップ)

共有

名前 ↑

コミュニケーション用ファイ...

第1回GW結果_Aグ... V2 1

ダウンロード

共有

アクティビティ

タスクを追加

日野市環境保全課 福嶋がv1をアップロードしました

日野市環境保全課 福嶋

8月7日 13:10

000

コメントを入力

ユーザーに@メンションして知らせます。

サイドバーが出ていない場合は
クリック (タップ)

クラウドサービスの利用について

気候市民会議以外の時間に思いついたアイデアを反映

v2 第1回GW結果_Aグループ.pptx
01_Aグループ・更新日2023年8月15日、更新者:アオイ環境

開く 共有

令和5年8月6日第1回日野市気候市民会議 テーマ「感想と疑問・質問」
Aグループ

黄色：感想 ピンク：疑問・質問

CO2の削減は絶対！

どうしたら良いかは、はっきり見えないが、各個人が考えていくことが大切と思った。

気候変動の影響は多岐にわたるのだと再確認

日野の中だけでなく、他の地球のことを考える

個人レベルだけでは大きな成果は得られにくい

環境対策 = 健康にプラス、という考え方をしたことがなかった

温暖化の仕組みは理解できなかった。で、結論は何をどうすれば良いか？

脱炭素化の取組に配慮が必要というの具体的などのようなことですか？

便利さスピードアップが本当に人に幸福なことですか？

まずは

環境対策にマイナスイメージを持っている人に対してどうしプラスに捉えられるのか？

政府は何故環境対策に前向きに取り組まないのですか？

今出来る省エネ対策として何が出来ますか？

あるの

何をしたら良いかわかっているのならばなぜそれが出来ないのか？

色々な対策を実施すべきだが、何を優先して取り組むべきか？【国単位、個人単位】

教育で気候変動教えているのか？

今年の子供たちにとって現在の温度上昇の現状を当たり前にならない

今年のは皆が感じたはずなので、個人ひとりひとりが本気で考えるよう広げていくことが必要ではないか

先進国と新興国の環境に対する意識はどのように違うか？

日野市だけでなく大きく対策効果はあるのか？

先達の先生の講義は分かり易くて大変良い

日野市は気候温暖化防止活動を市民にアピールするべき

人類は化石燃料文明を卒業しようとしている →なるほど！！ わかりやすい。

「旧石器時代が終わったのは石が無くなったからではない」 →この考え方は非常に重要

何故国民一人一人が温暖化に無頓着な人が多いのですか？

日本人の意識改革の方法は何か。

日本人の環境に対する意識の低さに驚いた

対策を行うのがまんざることではない

新しい発想への転換

追加意見（会議後アンケートより）

他のグループで若い人から温暖化に事が多かったとの意見によるフェイクニュースや誤った情報が懸念される。

アイデアを反映できます

コメントを入力...

キャンセル 投稿

アクティビティ

タスクを追加

アップロードしました

アンケートに記載されていた「問4追加意見」の内容を反映しました。（編集済み）

コメントを入力

ユーザーに@メンションして知らせます。

その他事務連絡

1. アンケートの実施（回答は、会議終了後1週間以内）

▶ 集計結果は、次回会議等で報告

2. グループワークの結果（模造紙）の共有

▶ 概ね1～2週間後にクラウドサービスへアップ

3. 記録動画（グループワークを除く）の公開

▶ 概ね2～3週間後にYouTubeで配信

4. 次回の会議資料の共有

▶ 概ね次回の会議の1週間前にクラウドサービスへアップ

その他事務連絡

5. 次回会議

日野市気候市民会議（第3回）

日時：10月1日（日） 13時15分～17時15分

場所：日野市役所5F 505会議室

6. 名札は外してファシリテーターにお渡しください

7. 報酬のお渡しについて

- この場でお渡しします。おかけになったまま、お待ちください。引き換えに受領証に氏名をご記入ください。